

事業所名

らいびず-サポート あおの丘

支援プログラム

作成日

2024年

12月

1日

法人（事業所）理念		私たちは、地域に暮らす、障がいを持つ方々の、可能性をいつも信じて、共に暮らす仲間として支え、協力し、より良い支援を提供していきます 私たちは、地域住民の1人として、誰もが住みよい街づくりを提案し、「わたしが暮らしたい街」をいつも考えます 私たちは、障がいを持つ方々を、社会の一員として自覚出来るよう、支援し、社会活動に「参加」し、「協働」出来る機会を常に提供していきます						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 障がい者の生活を支える支援 家族を含めた、生活を支える支援 社会参加の支援 地域への啓発活動 人材育成 						
営業時間		9時	30分	18時	30分	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握 生活リズムの把握 気づきがあった際の情報共有、提供をすすんで行う 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 遊びや活動を通じて、機能の向上及び、良い刺激による感覚を養う 集団による運動プランの提供 就労移行後に向けた体調管理、維持の助言 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 創作活動を通じて季節を感じられるよう創作内容の提供。また、創作活動において、創意工夫を行える造形を取り入れ、児童それぞれが考える時間と考えるために必要な支援を提供する ルールを必要とする集団活動や遊びを提供し、楽しみながら約束や時間の確認を行う 						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 気持ちを伝える成功体験を重ねる場として、友達同士のコミュニケーションに必要な支援を提供する 遊びへの誘いを児童から児童に行える環境を設定し、成功体験を重ねる。スタッフの介入が必要な際には、スタッフが声をかけず、児童本人が声をかけることの経験を重ねられるように配慮する 						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通機関を利用して、外出の経験ができる活動を提供する。また、公共の施設を利用した買い物支援や場所を活用しての交流の場を設定し、日常での支援では獲得が難しい経験を長期休暇期間において提供する 本人が楽しい、得意だと思う遊びや活動を選択できる環境を整え、他児へ楽しい気持ちの共有が出来るよう教えられるような場を設定する 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 家族からの相談や悩みに対しての助言 関係機関との情報共有を行い、支援体制の構築への助力を行う 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 学校等への情報提供及び情報共有を行う 就労移行の時期に合わせた、事業所への情報提供を行う 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 地域内の放課後等デイサービス事業所との情報共有の場（連絡会）への参加 事業所を併用されている方の情報共有を密に行い、一貫性のある支援を提供する 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ケース検討 事業所内研修の開催 社外研修への参加 など 	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 季節に合わせた集団活動（季節の創作、おやつ作り、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会 など） 法人全体での合同企画（年1回） 年度開始時の事業所説明会 						